

JOCS 祈りの花束カレンダー

2026年1月

今月のみことば：信仰によって、アブラハムは、自分が財産として受け継ぐことになる土地に出て行くように召し出されると、これに服従し、行き先も知らずに出発したのです。 ヘブライ人への手紙 11：8

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1 新しい年、JOCSの働きがますます祝福され、御旨に沿うものとなりますように	2 JOCSワーカーの派遣先団体と協働プロジェクトのパートナーに、今年、神様の導きが豊かにありますように	3 会長、常務理事、事務局長のため
4 戦争・紛争の中で保健医療活動に従事する人々のため	5 事務局スタッフのため(本日、仕事始め)	6 冬期募金のため	7 HOPEプロジェクト(協働プロジェクト)のため(ウガンダ)	8 JOCS会員のため。特に、大阪府の会員のため(現在、248名)	9 JOCSの奨学生のため。特にインドネシアの奨学生のため。現在12名)	10 地区JOCSの働きのため(本日、仙台JOCSきってきっぷ)
11 会報誌「みんなで生きる」が用いられるように	12 若い会員のため。青年会員の増強のため(本日、成人の日)	13 ミラノ外国宣教会(PIME)とそのJOYJOYプロジェクトのため(バングラデシュ・岩本直美ワーカー派遣先)	14 KINDプロジェクト(協働プロジェクト)のため(ミャンマー)	15 「リサイクル募金」「つながる募金」の普及のため	16 新しいワーカーが与えられるように	17 JOCSの組織運営のため(本日、定例理事会)
18 JOCSが教会一致のために貢献できるように(18日～25日:キリスト教会一致祈祷週間＊1)	19 JOCSに協力するボランティアのため	20 JOCSの財務のため(本日、会計監査)	21 第二期シロアムプロジェクト(協働プロジェクト)のため(ケニア)	22 JOCSの広報活動のため	23 城田ふみワーカーのため(タンザニア)	24 使用済み切手収集活動のため
25 JOCSをご支援くださる教会の働きのため	26 タボラ大司教区保健事務所のため(協働プロジェクトパートナー・奨学生所属先・城田ふみワーカー派遣先)	27 岩本直美ワーカーのため(バングラデシュから帰国・活動報告会開催中)	28 カリブムトプロジェクト(協働プロジェクト)のため(タンザニア)	29 ハンセン病を患う人々のため。予防、治療、啓発に関わる人々のため(本日、世界ハンセン病の日＊2)	30 国際保健医療勉強会のため。講師の岩本直美ワーカーのため(本日、開催)	31 会員・支援者の増強のため

* 1: Week of Prayer for Christian Unity: 世界規模のイベントで、今年のテーマは、「からだは一つ、靈は一つです。それは、あなたがたが、一つの希望にあずかるようにと招かれているのと同じです」(エフェソ4:4)。日本でもそれに基づいて各地で祈りの集会が開催される。

* 2: World Leprosy Day



みことばの默想

2026年1月

これらの短いみことばは、フランスにある超教派男子修道共同体テゼの日の祈りから取られたものです。

より深くみことばを味わいたい方は、出典箇所を参照して文脈のなかでみことばを默想なさってください。

聖書本文は、原則として『聖書 新共同訳』日本聖書協会発行をもとにしています。

1日（木） ルカ 2:16-21

羊飼いたちは急いでベツレヘムへ行って、マリアとヨセフ、また飼い葉桶に寝かせてある乳飲み子を探し当てた。その光景を見て、羊飼いたちは、この幼子について天使たちが話してくれたことを人々に知らせた。そして、見聞きしたことがすべて天使の話したとおりだったので、神をあがめ、賛美しながら帰つて行つた。

2日（金） ガラテヤ 1:11-24

パウロは記す。「神は、わたしを母の胎内にあるときから、恵みによって召し出してくだり、そして、御子をわたしに示されました。」

3日（土） ヨハネ 1:9-18

言（ことば）は肉となって、わたしたちの間に宿された。わたしたちはその栄光を見た。

4日（日） 1ヨハネ 3:16-20

イエスは、わたしたちのために、命を捨ててくださいました。わたしたちも兄弟のために命を捨てるべきです。

5日（月） 詩編 55:17-19

わたしは神を呼ぶ。主はわたしを救つてくださる。夕べも朝も、そして昼も。神はわたしの声を聞き、わたしの魂を平和で守つてくださる。

6日（火） 申命記 31:1-8

† 主の公現

あなたの神、主は、あなたと共に歩まれる。あなたを見放すこと、見捨てられることもない。

7日（水）

マタイ 10:9-14

学者たちはその星を見て喜びにあふれた。家に入ってみると、幼子は母マリアと共におられた。彼らはひれ伏して幼子を拝んだ。

8日（木）

知恵 10:9-14

神の知恵は義人を正しい道に導き、神の国を彼に示す。

9日（金）

詩編 37:27-40

主に従う人の救いは主のもとから来る。災いがふりかかるとき、砦（とりで）となつてくださる方のもとから。

10日（土）

使徒言行録 10:34-43

ペトロは言った。「神がイエス・キリストによって御言葉を送り、平和を告げ知らせてくださったのです。このイエスこそ、すべての人の主です。」

11日（日）

ヨハネ 3:22-36

神がお遣わしになった方は神の言葉を話される。神が靈を限りなくお与えになるからである。

12日（月）

ヨハネ 1:14-18

いまだかつて、神を見た者はいない。父のふところにいる独り子である神、この方が神を示されたのである。

13日（火）

ヨハネ 1:29-34

洗礼者ヨハネはイエスについてこう言った。「わたしの後から一人の人が来られる。その方はわたしにまさる。わたしよりも先におられたからである。」

14日（水）

ヨハネ 1:35-42

イエスは最初の弟子たちに言われた。「何を求めているのか。」彼らが「先生、どこに泊つておられるのですか」と言うと、イエスは言われた。「来なさい。そうすれば分かる。」

15日（木）

民数記 6:22-27

主があなたを祝福し、あなたを守られるように。主が御顔を向けてあなたを照らし、あなたに恵みを与えられるように。主が御顔をあなたに向けて、あなたに平安を賜るように。

16日（金）

マタイ 9:18-26

イエスはご自分がいやした女に言われた。「娘よ、元気になりなさい。あなたの信仰があなたを救つた。」

17日（土）

イザヤ 53:1-5

主の僕（しもべ）が背負つたのはわたしたちの苦惱。彼の受けた傷によって、わたしたちはいやされた。

18日（日）

詩編 96

新しい歌を主に向かって歌え。主の御名をたたえよ。日から日へ、御救いの良い知らせを告げよ。国々に主の栄光を語り伝えよ。

19日（月）

1コリント 6:12-20

主に結び付く者は主と一つの靈となるのです。

20日（火）

1ペトロ 1:13-21

あなたがたは、キリストを死者の中から復活させて栄光をお与えになった神を、キリストによって信じています。従つて、あなたがたの信仰と希望は神にかかっているのです。

21日（水）

マルコ 1:16-20

イエスは、ガリラヤ湖のほとりを歩いておられたとき、シモンとシモンの兄弟アンデレが湖で網を打っているのを御覧になつた。彼らは漁師だった。イエスは彼らに言われた。「わたしについて来なさい。人間をとる漁師にしよう。」

22日（木）

1コリント 12:12-27

パウロは記す。「体は一つでも、多くの部分から成つているように、キリストの場合も同様です。一つの靈によって、皆一つの体となるために洗礼を受け、皆一つの靈をのませてもらつたのです。」

23日（金）

詩編 119:49-56

主よ、あなたの掟（おきて）はわたしの歌。夜にはあなたの御名を唱えます。

24日（土）

1コリント 9:16-23

パウロは記す。「わたしが福音を告げ知らせても、それはわたしの誇りにはなりません。そうせずにはいられないことだからです。」

25日（日）

ヨハネ 3:13-17

神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないので、永遠の命を得るためである。

26日（月）

イザヤ 49:13-15

主は言われる。「女が自分の乳飲み子を忘れるであろうか。母親が自分の産んだ子を憐れまないのであろうか。たとえ、女たちが忘れようともわたしがあなたを忘れるることは決してない。」

27日（火）

サムエル下 22:1-20

主はわたしの岩、砦（とりで）、ほむべき方。主をわたしは呼び求め、主はわたしを救われる。

28日（水）

マルコ 1:21-28

イエスは、安息日に会堂に入つて教え始められた。人々はその教えに非常に驚いた。律法学者のようにではなく、権威ある者としてお教えになつたからである。

29日（木）

ゼカリヤ 8:11-17

主は言われる。「わたしがあなたがたを救い出すのであなたがたは祝福となる。恐れてはならない。」

30日（金）

イザヤ 63:16b, 64:3-7

主よ、あなたはわたしたちの父、わたしたちの贖（あがな）い主。喜んで正しいことを行い、あなたの道に従つて、あなたに心を留める者を、あなたは迎えてくださいます。

31日（土）

詩編 138

神よ、あなたの慈しみとまことのゆえに御名に感謝をささげます。あなたはわたしの魂に新たなる力を与えてくださいました。